

メイド長「おはようございます♥ぼっちゃま♥  
本日も良いお天気ですね♥」

ぼっちゃま「お、おはよう……！メイドさん……！（ドキッ）」

メイド長「あーあ……流石は陰キヤの童貞ぼっちゃま……」

女性の顔は直視できないくせにオッパイはガン見ですか……バレてますよ」

ぼっちゃま「あの……っその……っ（ハラハラ）」

メイド長「今日も学校でのお勉強、頑張ってくださいませ♥（精々虐められないようにな……）」

ぼっちゃま「う、うん……っ！行てきます……っ！」

メイド長「はい♥行てらっしゃいませ♥（学校着くまでには勃起治めとけよ……ムツリくん）」

おるぎ

メイド長「やっと行っただか……  
親に甘やかされて育ったクソガキの相手すんのは疲れるわ……」

メイド長「世の中不公平よね……」

あんなオドオドした軟弱坊やでも親が大金持ちでただで  
勝ち組人生決定……みーんなチャホヤしてくれるんだからさあ」

フム



メイド長「容姿端麗で元グラビアアイドル。数多の男共を手玉にとってきたのこのアタシが  
ギャンブルでくだらない借金こさえたせいで  
あんな陰キャ小僧にヘラヘラ媚び売る情けない人生送ることになるとは……  
やってらんないわ……」

メイド長「あーあ……こんな事なら若いうちに大金持ちのイケメンと結婚しとくんだったわ  
この歳になるとそんな上玉には遊び相手にしかされないし  
だからって脂まみれのオッサン相手は絶対に勘弁だしな……  
まあチンポ勃たない老い先短い爺さんなら……いやいや  
大金持ちの爺さんは今更女なんか囲わねーかあ……」





ん……？

大金持ちで若くて簡単に堕とせそうな奴……

何でもアタシの言いなりになりそうなの……

……お？

灯台下暗し……ちゅちゅ？

# その目の夜……



ぽっちやま「ハアハア♥ハアハア♥

好きだっ♥ハアハア♥好きだっ♥」

ぽっちやま「好きっ♥好きいっ♥ハアハア♥ハアハア♥」



メイド長「なにしてるんですか？？ぼっちゃま♡」

おどろ

ひい！



ぼっちやま「メイドさ……っ!!勝手に部屋に……っ!!  
いや……っ!!これはその……っ!!」

メイド長「恥ずかしがらなくてもいいですよ♡  
殿方がオナニーするのは自然なことですよ♡  
みくんなやってることです♡ぼっちやま♡」

ぼっちやま「はひっ!!はひっ!!」

メイド長「でも……♡ぼっちやまはそこらの庶民とは違うんですよお?  
「うっいうことはメイドに任せていただかないと♡」

ぼっちやま「ふえっ!!」



メイド「パイズリって好きですかあ？」



メイド長「いまから私めがこのオッパイで♡  
ぼっちやまの下のお世話をさせていただきます♡」

ぼっちやま「!!」

メイド長「んふ♡生オッパイを見たのは初めてですかあ？

こんなにオッパイが大きくなったのは♡

ぼっちやまのオチンポをズリズリして気持ち良くして差し上げる為ですう♡」

ぼっちやま「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡」

ぷんぷん

ぷんぷん

メイド長「んふ♥そんなに動揺しないでくださいませ♥ぼっちゃま♥  
ぼっちゃまのような上級国民は常に堂々としていなければ♥」

メイド長「メイドなど性処理道具くらいに思ってくださいな♥  
貴族は支配欲がないとやっていけませんよお♥」

ぼっちゃま「ハアハア♥ハアハア♥ハアハア♥」

メイド長「札束で女の頬をぺちぺちしながら『抱かせろ』くらい言えるようにならなければ♥  
勝ち組の男とはそういうものですよお♥ぼっちゃま♥」

ぼっちゃま「勝ち…組…?ハアハア♥僕が…ハアハア♥」

メイド長「自覚をお持ち下さい♥ぼっちゃまは国内有数の大富豪の時期当主なんですから♥」



メイド長「オラ♡はやくチンポを」せ♡」



メイド長「んふ♡」

おっさん♡

おっさん♡



メイド長「は〜い♥オチンポ入っちゃいました〜♥」

メイド長「私のオツパイ大きすぎて

ぼっちゃまのオチンポも隠れちゃいましたね♥」

ぼっちゃま「おっ♥おっ♥おほっ♥」



メイド長「いかがですう？挿れただけで気持ち良いでしょう？」

ぽっちやま「おっ♡おっ♡」

メイド長「でも♡動かすともっとも♡と

気持ち良いんですよ♡

動いて欲しいですか？ぽっちやま♡」

ぽっちやま「ひゃいっ♡ひゃいっ♡」

ぽっちやま♡♡♡

ぽっちやま♡♡♡

メイド長「かしこまりましたあ♡」

お♡

は♡

お♡  
ち♡  
き♡  
き♡

お♡  
ち♡  
き♡  
き♡

お♡  
ち♡  
き♡  
き♡

お♡  
ち♡  
き♡  
き♡

お♡  
ち♡  
き♡  
き♡

メイド長「んふふ♥凄いでしょっ？  
オチンポを左右の乳房で挟み込んで  
上下に扱いてます♥」

メイド長「これがパイズリです♥」

ぼっちゃま「パイ♥ズリイ♥」

メイド長「こんな大きなオツパイに扱かれるチャンスなんて  
中々ありませんよお？

そこらの女性の乳では満足できなくなるでしょうね♥  
でもご安心ください♥

私が一生ぼっちゃまのオチンポのお世話をしますからねえ♥」

すぢぢ♥  
すぢぢ♥

すぢぢ♥  
すぢぢ♥

すぢぢ♥  
すぢぢ♥

すぢぢ♥  
すぢぢ♥

だもぢぢ♥

あふ♥

だもぢぢ♥

メイド長「もうイキそうですかあ？ぼっちゃま♡  
いいですよお♡射精なさって下さい♡」

ぼっちゃま「メイドさん♡離れてっ♡  
精子がかっちやうっ♡  
きつ、汚いからあ♡」

メイド長「ぼっちゃまの精子は汚くないですよお♡  
遠慮なくオッパイに中出しして下さい♡」

ぼっちゃま「イグッ♡イグッ♡出ちやうっ♡」



ぼっちやま「んほおおっ♡」

メイド長「ああんっ♡ 凄い勢いつ♡  
やっぱりお若いですねえ♡」

ぼっちやま「パイズリッ♡ 中出しッ♡  
しゅーしゅぎいっ♡」

メイド長「射精中も乳圧かけてあげます♡」

ぼっちやま「あひやあああっ♡」



メイド長「あらん♥」ご覧ください、ぼっちやまさん♥  
ぼっちやまのドロドロのお精子たくさん♥

ぼっちやま「ハアハア♥ハアハア♥ハアハア♥」

メイド長「あら♥申し訳ございません♥

精子まみれのオツパイなんでお目にしたら  
勃起が治まらないですよねえ♥」

ぼっちやま「ふーっ♥ふーっ♥ふーっ♥ふーっ♥」

メイド長「もう一発いつとく?」

ぼっちやま「」



メイド長「ああん♥ぼっちやまの逞しいオチンポ  
扱き甲斐があつて愛おしいですう♥」

ぼっちやま「なんでっ♥こんな事っ♥ああっ♥」

メイド長「メイドがぼっちやまの性処理を承るのは  
当然のことですよ♥」

ぼっちやま「そんなのっ♥エロ漫画の中だけだ…っおふ♥」

メイド「えいっ♥えいっ♥」

ぼっちやま「おぐふっ♥激しっ♥」

おちんぽ♡  
おちんぽ♡  
おちんぽ♡



メイド長「あゝん♡ぼっちゃまあ♡

お慕い申しておりますう♡」

おっ♡

メイド長「若い思春期のぼっちゃまは♡

毎日エッチな事で頭がいっぱいでしょうからあ♡

遠慮なく私をオナホにしていんですからねえ♡

名のある富豪の息子が独り寂しくオナニーなんかしちやいけません♡

庶民とは違うんですからあ♡」

すぢゃ♡  
すぢゃ♡  
すぢゃ♡

すぢゃ♡  
すぢゃ♡

おっ♡

おっ♡

すぢゃ♡

すぢゃ♡

メイド長「おりや♥おりや♥メイドに下世話させる贅沢な性処理法♥

自分の右手じゃなく女のカラダを使った金持ちの贅沢オナニー♥

「おりや♥

おりや♥

おりや♥

メイド長「見て下さい♥ぼっちゃま♥

私のオッパイ♥ぼっちゃま専用のオナホ♥

中出しして下さい♥オナホに気を遣う必要ありません♥  
射精して下さい♥」

おちや♥  
おちや♥  
おちや♥

おちや♥  
おちや♥  
おちや♥

おりや♥

メイド長「はろっ♡ふんふん♡」

あぐっ♡

ひん♡

フン

フン





メイド長(プー！クスクス！)

惚れた？ねえ惚れたあ？)

メイド長(これでもうアタシなしではチンポいじれないわね♡  
やっぱガキなんて楽勝だわー♡)

この馬鹿でかい豪邸が私のものになるのも  
時間の問題だわっ♡



メイド長「お帰りなさいませ♥ぼっちゃま♥

…おやあ?どうされました?  
なんだか元気がないようですが…」

ぼっちゃま「じ、実は学校で話しかけたい人がいるんだけど  
中々勇気がなくて…」

メイド長「はは〜ん…さてはこいつボッチだな?

友達作りたいけどシャイすぎて上手くいかないってかあ?

陰キヤらしい下らない悩みだな〜(笑)

金ばらまきや寄ってくる奴なんかいくらでもいるだろうに  
世渡りが下手だね〜)

ぼっちゃま「はあ…僕ってなんでこんなにダメダメなんだ…」

おるぎ

メイド長「ま、とりあえず『発抜きましょ♡』」

にっ♡



ぼっちやま「気持ちいい気持ちいいよぉ♡ハアハア♡  
オチンポ気持ちいい♡」

メイド長(もうすっかりオツパイに夢中かなあ？  
ガキなんて楽勝♡  
ちよつと優しくしてチンポ擦ってやれば  
簡単に堕ちちやう♡)

メイド長(学校じゃこんな事してくれる女いないもんねえ♡  
んふ♡アタシ専用のATM誕生ももうすぐじゃね？(笑))



メイド長「学校で辛いことがあっても♡

家に帰れば美人で爆乳の性処理女が  
デカ乳ぶら下げてチンポ待ってるんです♡」

メイド長「だからぼっちゃまは♡

いつでもどこでも私の事だけ考えてくださればいいんですよ♡  
学校でも家でも私のオツパイの事だけを思い浮かべて下さい♡」



メイド長「んふ♡ぼっちゃま♡

学校帰りの疲れマラ、ブツ扱くと気持ち良いですよね♡  
濃厚な黄バミお精子ドピュドピュ吐き出して下さいませ♡」

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

メイド長「ティッシュ要らずのザーメンゴミ箱だと思って

流れ作業で射精してください♡」

はぁ♡

メイド長「ぼっちゃまの高級ザーメン大量ですう♡  
そんじゆそこらの下民女には畏れ多い  
上級国民の遺伝子ッ♡」

メイド長「ぼっちゃまにお仕えできて私は幸せ者です♡」

「おっ♡」

「おっ♡」

「おっ♡」



メイド長「さ〜て・・・そろそろ『おぼっちゃま(笑)』の  
介護にいくかあ・・・」

フム

メイド長「かったりーけど金の為だ・・・  
精々サービスしてやっかあ」



メイド長「さあ♥ぼっちやま♥今日もいっぱいズリズリしましょう♥」

ぼっちやま「あつ、あのっ！実はもうこんなことやめたいんだっ!!」

メイド長「はい？遠慮なさらないでください♥私はぼっちやまの性処理ができてとても幸せなんですからあ♥」

ぼっちやま「実はボク……っ!!好きな人がいるんだっ!!」

メイド長「ああんっ♥ぼっちやま♥いけません♥私ごとき平民がぼっちやまと結ばれるなど♥」

ぼっちやま「クラスメイトのアスカさんって言うんだけどね……♥」

特別目立つ存在ってわけじゃないんだけど、清楚でとても可愛い女の子なんだ……♥」

メイド長「はい?」

ズリズリ

ズリズリ

ぼっちゃま「い、いままで流されちゃってたけど、ちゃんと言わなきゃと思って……!!  
す、好きな人がいるのにこんな事良くないと思うんだ……っ!!」

メイド長「そ、そうなんですか……。クラスメイトの……」

ぼっちゃま「うん……♥でも恥ずかしくてまだ一言も会話したことがないんだ……  
遠くから見てるだけでもいまは十分なんだけどね……。♥へへへ……。♥」

メイド長「こ、このクソガキ……。アタシが体張ってやってんのに

他のメスガキに恋してるだあ!? どんな神経してるの?!

これじゃアタシが哀れすぎんでしょーよ!!

『いい歳こいたオバサンが若いオスに発情してるw』とか

内心馬鹿にしてたんじゃねーだろーなっ?!

元グラビアアイドルでスクールカーストトップだった

このアタシをこんな不細工な陰キャクソガキがコケにしゃがったのか?!

メイド長「ぼ、ぼっちゃま？」

申し訳ございませんが少々ここでお待ちくださいませえ♡」

ぼっちゃま「え？なんで？」

ハッ

メイド長「すぐに済みますので♡」

ぼっちゃま「はい……」

メイド長「じゃ〜ん♥いかがですかあ♥ぽっちやま♥」

ぽっちやま「ふほっ!?!」

メイド長「今晚はあ♥体操着姿でご奉仕させていただきま〜す♥

成熟した大人のカラダでこれ着るとお♥

めっちゃエロくないですか〜?♥」

ぽっちやま「ハアハア♥ハアハア♥」



メイド長「んふ♥同じ体操着姿でも、ぼっちやまの学校には

こんな大きなオツパイで  
こんなエッチな事してくれる女の子はいないでしょう？  
しかも私だったら他にも色んな服を着てあげますよ♥」

あゝ♥

メイド長「どんなエッチな恰好でもします♥

ぼっちやまがお望みとあらば♥」

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

あゝ♥

ぽっちやま「なんでっ♥そこまでっ♥メイドだからっ♥」

メイド長「決まってるじゃないですかっ♥」

ぽっちやまの事を愛しているからですよ♥」

とぽっちやま「あいつ♥ふえっ♥」

メイド長「ねえ♥ぽっちやま♥」

小娘の事なんか忘れて私と結婚しましょう♥  
私、ぽっちやまのお嫁さんになりたいんです♥」



ぼっちやま「ぼっ、僕にはツ♥アスカさんがあつ

アスカさんを愛してっ♥あふっ♥」

メイド長「そのアスカさんはあ……♥

こんな事してくれませんかねえ？

それどころかシヤイなぼっちやまはあ

いつも彼女を遠くから眺めているだけなんでしょう？

一生彼女の写真でオナニーするだけの人生ですかあ？

私だつたらあ♥ぼっちやまがお望みなら

いつでもどこでもエッチさせてあげますよお♥

ぼっちやまがムラムラした時に手軽に使える

都合の良いオナホ嫁になってあげます♥

小娘なんかとは違うこの熟したムチムチの大人の女のカラダを

毎日一生使い放題♥です♥」



メイド長「ほらっ♡ほらっ♡ぼっちゃま♡

こんな美人で爆乳のお姉さんが  
忠実なお嫁さんになってあげるんですよ♡」

ご存知でしたかあ？ぼっちゃま♡

私、学生の頃グラビアアイドルをやってたんです♡



毎日色んな男子から告白されてましたよ♡

ぜいぶんぶ断ってましたけどね♡

きつと学校中の男達が私をオカズに

シコシコしてたでしょうね♡」

はぁ♡♡

はぁ♡♡

メイド長「私の爆乳でパイズリされたくて堪らない男達があ  
夜な夜な妄想の中で私を犯しながら  
独り寂しくシコシコシコシコ♡  
かわいそうですよねえ？(笑)」

はぁ♡♡

はぁ♡♡

はぁ♡♡

はぁ♡♡

メイド長「でもぼっちゃまはあ♡

他の男達が指一本触れることのできない……

オナペットにするのが精一杯の高嶺の花のこの私を

お嫁さんにして他の男達に自慢できるんですよお♡

勝ち組です♡みくんなぼっちゃまを羨望の眼差しで

見ますよお♡んふふ♡」



メイド長「さあ♥ぼっちゃま♥選んで下さい♥」  
やらせてくれない

『どこにでもいるような平凡な貧乳女』と  
いつでもやらせてくれる  
『元グラビアアイドルの爆乳美女♥』  
どっちがいいですかあ？

メイド長「あ、そういえばあ♥

私が学生の頃、体育の時間は特に大変でしたあ♥  
体操着姿で動く度にブルンブルン揺れる

私のオッパイ目当てで〜♥

学校中の男子達が授業サボって視姦しにきてました♥」



メイド長「わあゝ♡凄ゝい♡

今の話で余計に興奮しちゃいましたあ？

でも仕方ないですねゝ♡

男達が妄想の中で散々私にさせてたパイズリ♡

それをリアルで味わえるのはぼっちやまだけなんですからあゝ♡」

ほっ♡

ほっ♡

はなゝ♡

メイド長「皆のオナペットアイドルを独占できる優越感とかあ♡

それとも大好きな女の子に対しての

罪悪感とか背徳感で興奮する悪い子ですかあ？」



金ズルを小便臭いメスガキなんかに  
奪われてたまるか……！

どんな手でも使ってやるわ……っ！！



メイド長「んふふ♥JKメイドです♥」

ぼっちやま「ええっ!?それ僕の学校の制服っ♥」

メイド長「実は私い♥OB...卒業生なんです♥」

どうですかあ?まだイケますでしょ?んふ♥」

ぼっちやま「うっ、うん...っ♥とつてもっ♥ハアハア♥ハアハア♥」

メイド長(食いつき凄〜い♥今にも襲い掛かってきそうなくらい目が血走ってる♥)



ぼっちやま「そつ、それじゃっハアハア♡さっそくっ♡ハアハア♡」

メイド長「あ、ごめんなさうい♡働きすぎですかねえ♡

急に眠くなっちゃいました♡♡

申し訳ありませんが今晚のご奉仕は中止させていただきます♡」

ぼっちやま「ええっ!? そんなあつ!」

メイド長(ふふふ♡お預け食らった子犬みたい♡

押すだけじゃなく引くことも大事♡

大人の駆け引きに翻弄されちゃった? 童貞くん♡)

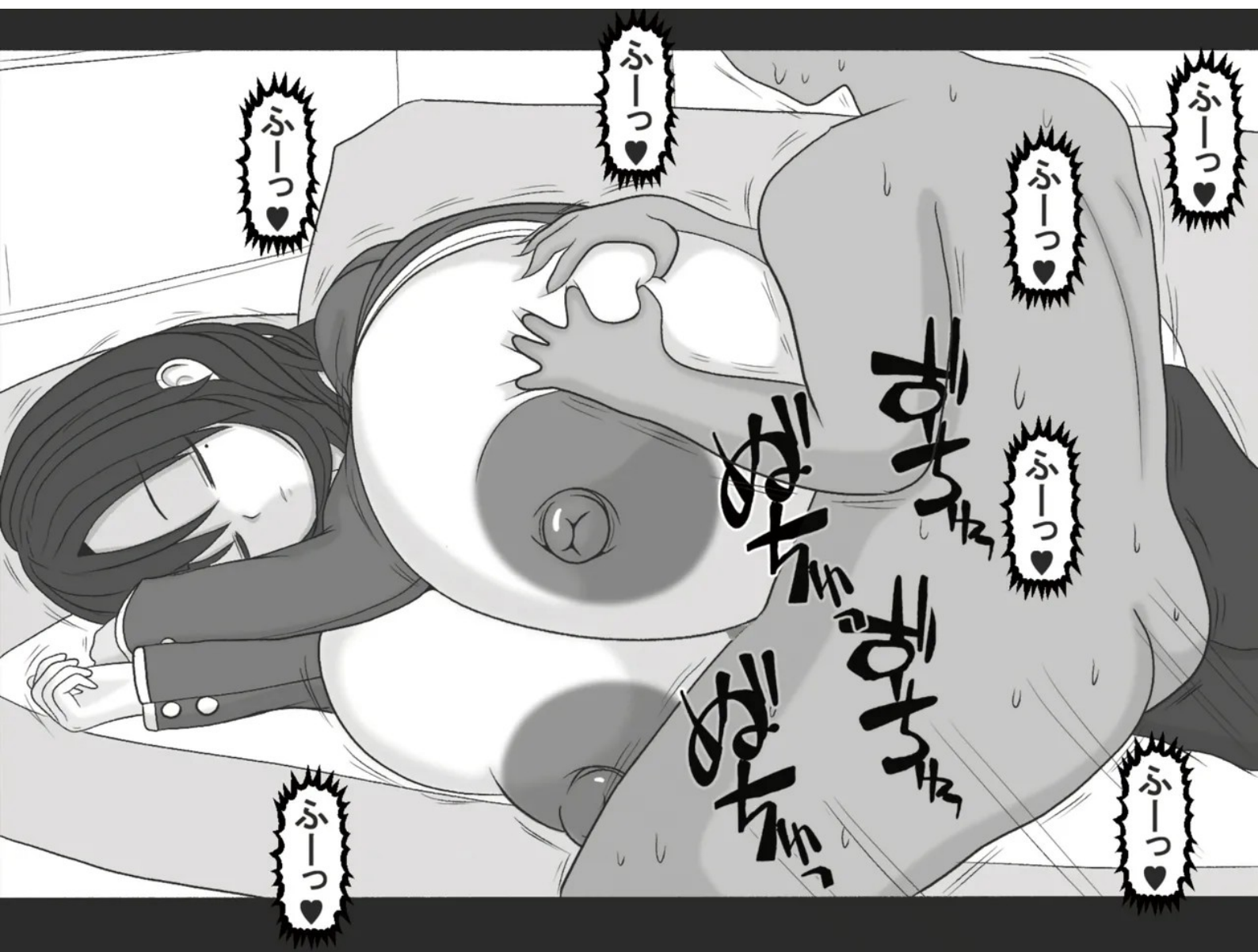
ぼっちやま「ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡」

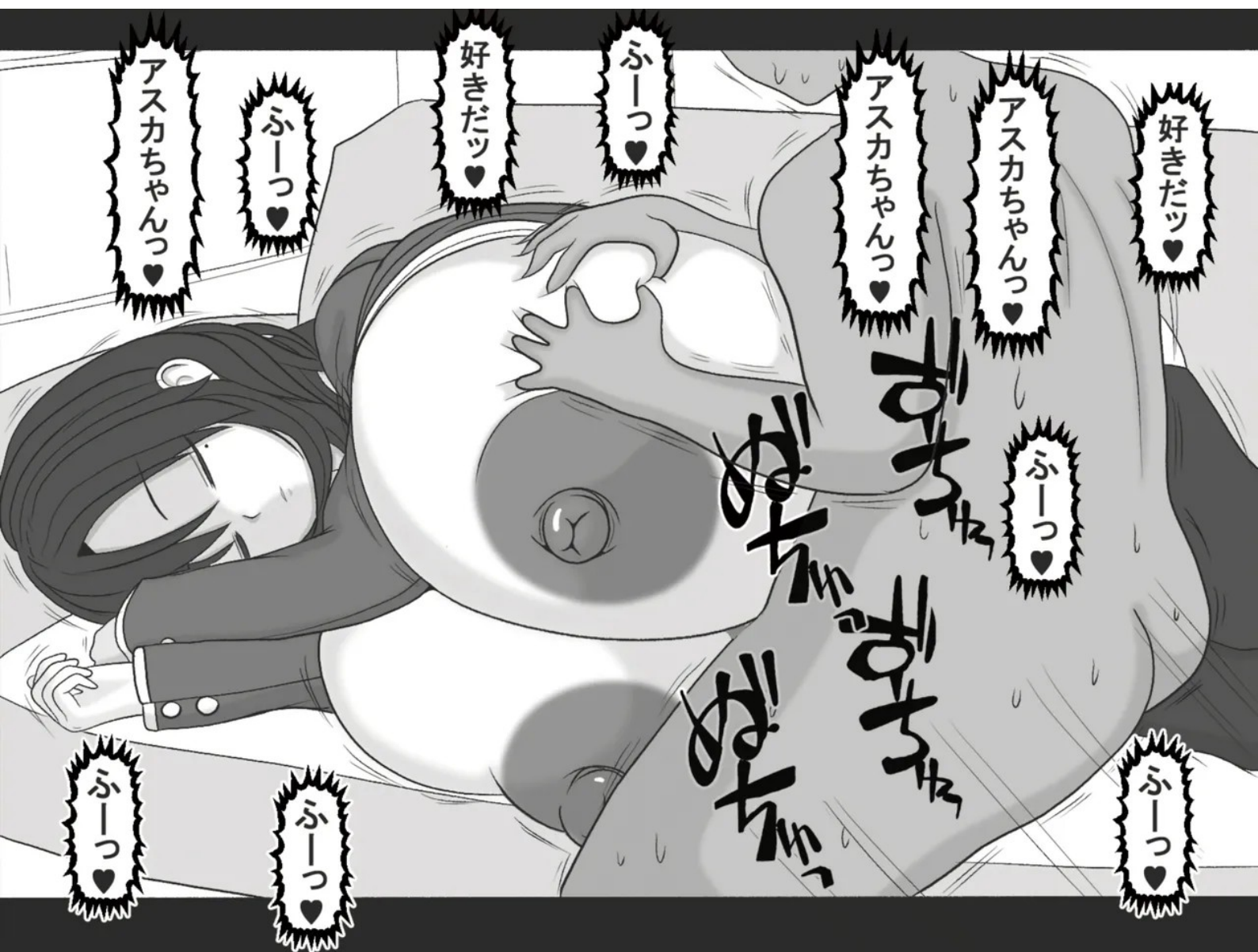
メイド長(いつも簡単にやらせてくれる便利な女に拒否られたショックは大きいわよね♡

抜きたくて抜きたくて堪らないんでしょ? 息荒すぎwww)









好きだッ♥

アスカちゃんっ♥

アスカちゃんっ♥

ふーっ♥

好きだッ♥

ふーっ♥

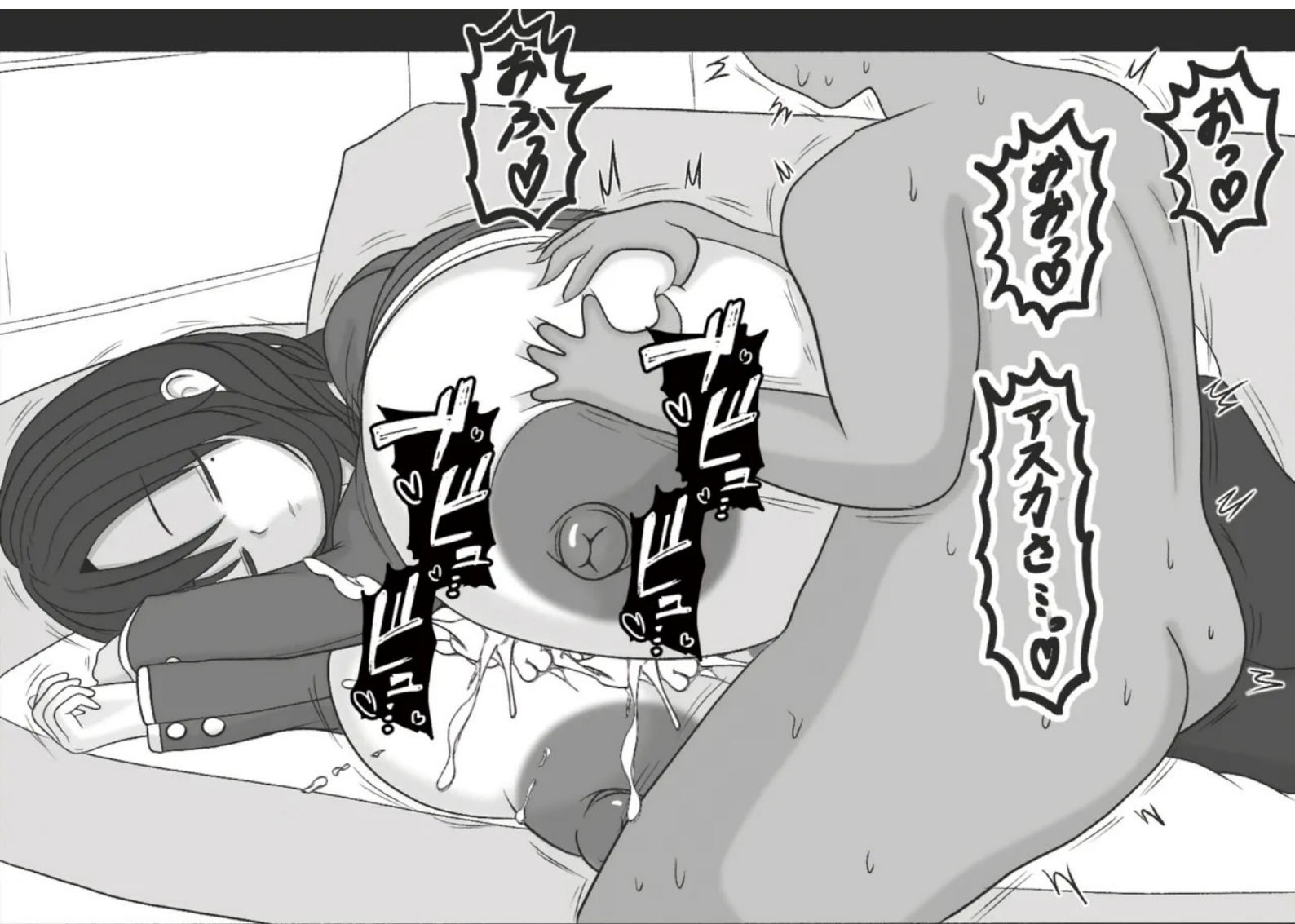
アスカちゃんっ♥

ふーっ♥

ふーっ♥

ふーっ♥

ふーっ♥



メイド長「な〜にやってるんですかあ？ぼっちやま♥」

ひあめっ!!おっ、起きて…っ!!



メイド長「女性の寝込みを襲うなんて……  
「これってレイプですよねぇ？」

メイド長「犯罪ですよ？ぼっちゃま……」

ぼっちゃま「ちっ、違っ！これはっ！そのっ！」





メイド長「しかも違う女の名前を叫びながら犯すなんて……  
最低ですね……ぼっちやま♡私は彼女の代用品ですかあ？」

ぼっちやま「うっ……めっ……めんなさいっ!!」

メイド長「お父様にお話するべきでしょうか……?  
ぼっちやまにレイプされましたっ♡」

ぼっちやま「うっ!!」

メイド長「ふふふ……♡冗談ですよー♡そんなにビクビクしないで下さい♡  
大好きなぼっちやまが叱られるのなんて見たくないですもの♡」



でも教育上、お仕置きはしないといけませんね♡  
大変心苦しいですが♡

はひっ!?

ぽっちやま「あああああっ♡」

ぽっち♡  
ぽっち♡  
ぽっち♡

ぽっち♡  
ぽっち♡  
ぽっち♡



メイド長「ふふふ♥逃がしませんよ♥」

ぼっちやま「ゆっ許ひてっ♥あひっ♥」

メイド長「だ〜メ♥謝つてもズリ扱きます♥」

ぼっちやま「ひいっ♥」

メイド長「レイプされる者の気持ちがありましたかあ？

ほらっ♥ほらっ♥」

はぁ!♥

はぁ!♥

はぁ!♥

はぁ!♥

はぁ!♥

はぁ!♥

メイド長「あれえ？ぼっちゃま？」

もしかして喜んでいませんか？

女にレイプされて興奮するなんて

ぼっちゃまはドMの変態さんだったんですね♡

あひっ♡

ちん♡

あひっ♡

ちん♡

メイド長「ほらっ♡変態さん♡精子出せっ♡

情けなく射精しろっ♡オラッ♡オラッ♡出せっ♡」

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

メイド長「あはっ♡ザーメンくっさるい♡

ぽっちやまのアへ顔キモイです♡」

あひっ♡

あひっ♡

メイド長「こんな気持ち良くさせちゃったら

お仕置きになりますね♡くすくす♡」

ザーメン

あへ顔



夜はまだまだこれからですよぉ♡



ぼっちゃま「やめっ♡やめれえっ♡」

メイド長「だゝメ♡逃がしませんよぉ♡」

メイド長「ぼっちゃまの精子でえ♡」

妊娠しちゃえば私と結婚せざるを得ませんよね♡  
でもぼっちゃまの中出しセックスするなんてキモいんでえ♡  
パイズリで新鮮な精子貰っちゃいますねえ♡

ズルィッ  
ズルィッ  
ズルィッ  
ズルィッ  
ズルィッ  
ズルィッ  
ズルィッ  
ズルィッ

ぽっちやま「結婚なんてっ♥しないっハアハア♥

僕はアス力さんとっ♥添い遂げっ♥あふっ♥」

メイド長「しつけーガキだなあ…お前に無理矢理レイプされて  
孕ませられましたっパパに言ってやろうか？」

ぽっちやま「?!」

メイド長「アンタは大人しく子種をよこせばいいの♥

既成事実さえ作っちまえば

こっちのもんなんだからさ♥

跡継ぎのアンタと結婚すれば夢の豪遊セレブ生活が  
待ってるんだからよお♥」

ぽっちやま「だっ、誰かあつ!!助けてえっ!!はうっ♥」

メイド長「ムゝダ♥誰も助けにこないですよお♥ぽっ・ちや・ま♥」

誰かあ♥  
誰かあ♥

助け♥

やめろ♥

やめろ♥



メイド長「あゝんっ♥ぼっちやまのくっさいザーメンがあゝ  
いまは金銀財宝に見えますうっ♥」

ぼっちやま「嫌らあっ♥嫌りやああああっ♥」

メイド長「暴れないで下さいよお♥最後の一滴を出し尽くすまで  
逃がしませんので♥無駄な抵抗はおやめください♥」



ぽっちやま「はうあつ♡やめっ♡やめでえええっ♡」

メイド長「泣くほど嬉しいんですかあ？(笑)男の子の癖に情けないでちゅね♡」

ぽっちやま「助けてえっ♡嫌だあっ♡」

メイド長「ママもパパも助けてくれまちえんよ♡」

金玉空っぽになるまでニ晩中犯してあげますからね♡」

ぽっちやま「ひぎいいいっ♡」

メイド長「ほらっ♡ほらっ♡」

気持ち良いでちゅかあ♡  
ほらっ♡ほらっ♡」

あひる♡

あひる♡

あひる♡

あひる♡

あひる♡

あひる♡

あひる♡

ぼっちやま「嫌だッ♥赤ちゃんはアスカさんと作るんだあッ♥」

メイド長「オラッ♥精子出せッ♥」

さっさと精子出せッ♥オラッ♥」

ぼっちやま「ひぎッ♥あふッ♥くそおッ♥ぎもぢい♥」

嫌だッ♥嫌だよおおッ♥  
助けてママッ♥パパッ♥」

メイド長「これだからボンボンの息子はッ♥

甘やかされて育った軟弱坊主ッ♥

ずっつと氣にくわなかったんだよクソガキッ♥」

ぼっちやま「ママアアアッ♥パパアアアッ♥」

あひ♥

メイド長「そうだ泣けッ♥泣けよッ♥キモいアへ顔晒しながら泣きわめけッ♥  
泣きながら精子出せッ♥イケッ♥イケッ♥イケッ♥」

あひ♥

あひ♥

あひ♥

あひ♥

メイド長「んふっ♥金のなる赤ちゃんの素が大量っ♥

どうか母親似でありますようにっ♥

オラッ♥暴れるなパッパッ♥

一滴残らず子種吐き出せッ♥

赤ちゃん製造機ッ♥オラッ♥

ぼっちやま「あああっ♥あがっ♥がふっ♥」

メイド長「手に入らない女の事なんか忘れて

私の夫兼奴隷として楽しく暮らしましょうよっ♥

パイズリくらいなら、たまにはしてあげますからあ♥」

ぼっちやま「アス…力…さ…ん♥

助け…て…♥」





メイド長「ねえ好きっ!? 私のオッパイ好きですかあつ!?  
ほらっ♡ほらっ♡ガンパンッ♡」

パイパイ♡

パイパイ♡

おはい♡  
おはい♡

「だ〜い嫌いなんです♡」

ぎもぐいっ♡

バネ

「きもちいいー♡」

メイド長「だからぼっちゃまが恋愛なんて絶対に無理です♥  
結婚してくれる女の子なんて私以外いませんよお♥」

ハイブリッドな心



メイド長「私ならあ♡ほつちやまがいくらキモくても  
お金持ちだから我慢してあげます♡」

きもちいい♡

バイバイ♡

メイド長「だから四の五の言わずに結婚しろ♡」

きもちいい♡

んおおう♡

おはいい♡

おはいい♡



メイド長「結婚してくれないならパイズリやめちやおつかな〜♥」



メイド長「あ〜ん♡嬉しい♡これで両思いですね♡」

んおおっ♡

メイド長「オラッ♡ATMゲット♡

「ご褒美ですよ♡ぽっちやまつ♡

イケっ♡イケっ♡イケっ♡」

んおおっ♡

んおおっ♡





